

2024年度第1四半期 線区別の収支とご利用状況について

2024年9月13日



1

1 2024年度第1四半期のポイント ①



○営業収益は、2024年3月のダイヤ改正により快速エアポートのご利用が増加したことや、各種プロモーションに取り組んだこと等により、大部分の線区において増加しました。

○営業損失は、全体で627百万円縮小し、このうち観光や出張のご利用が多く営業収益の規模が大きい [11～18] の線区が合計で671百万円の縮小となりました。特に [15] 札幌圏は242百万円改善し、第1四半期として公表（2018年度）以来はじめて営業損益が黒字となりました。

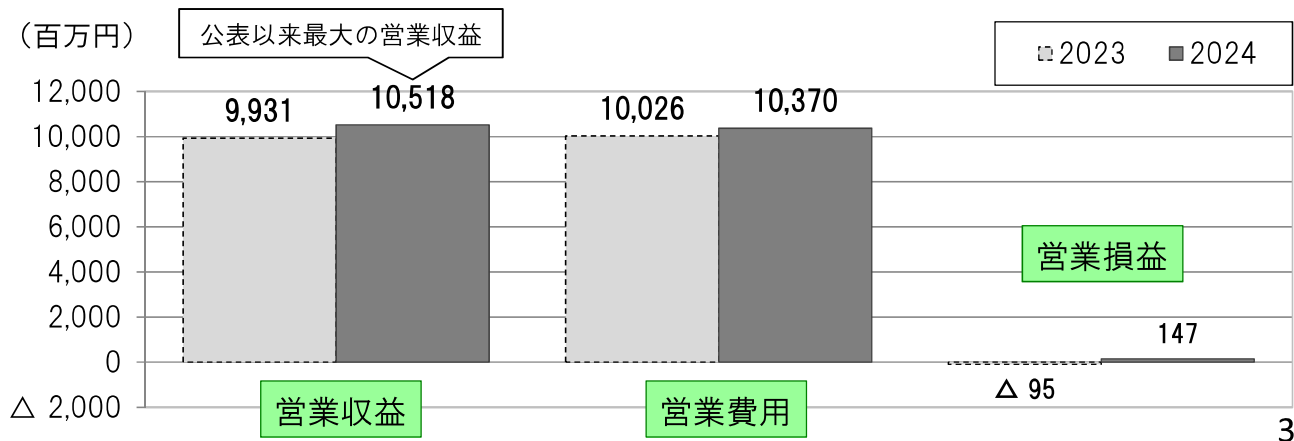
※ []内の数字は、別紙に記載の各線区の行番号です（以降同様）。

2

1 2024年度第1四半期のポイント ②

○ [15] 札幌圏（4線区）の営業損益が黒字

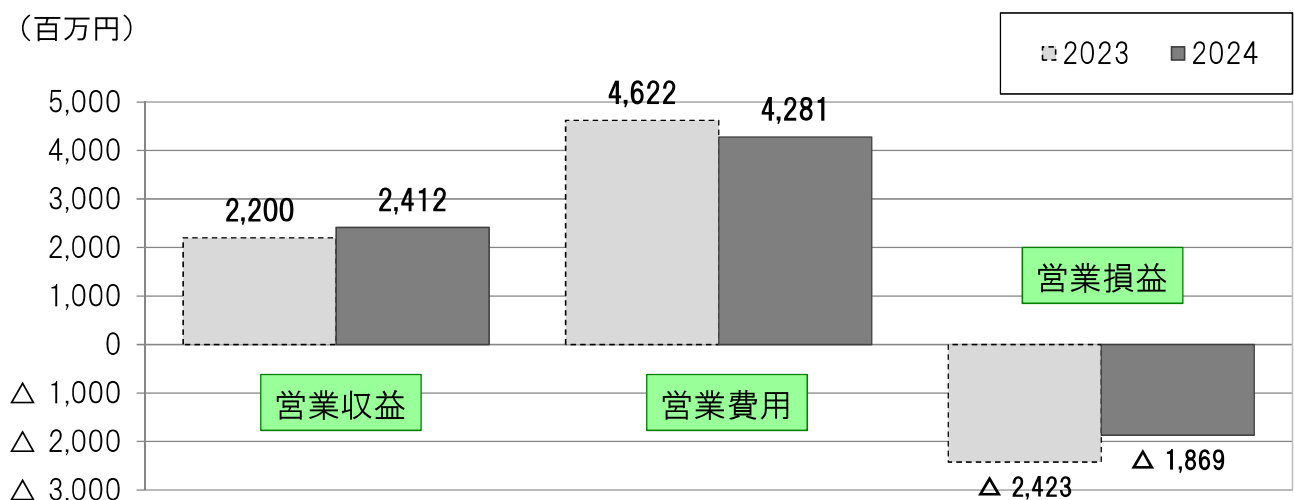
- ▶ 営業収益は、2024年3月のダイヤ改正による快速エアポートのご利用の増加や「北海道ボールパークFビレッジ」への輸送需要の取り込み等により、586百万円増加。
- ▶ 営業費用は、車両や駅設備の修繕費が増加したこと等により、344百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損益は242百万円改善し、147百万円の黒字。
[第1四半期としては公表以来初の黒字]



1 2024年度第1四半期のポイント ③

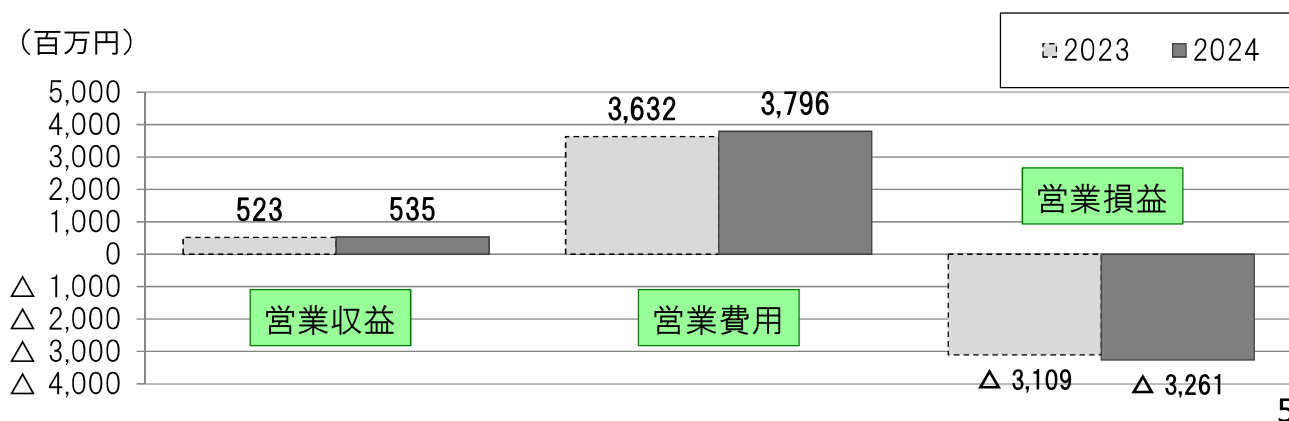
○ [18] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損失が縮小

- ▶ 営業収益は、JR東日本や映画と連携したプロモーションの実施等により、212百万円増加。
- ▶ 営業費用は、線路の修繕費や電気代が減少したこと等により、342百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損失は554百万円縮小。



○ [2～10] 黄線区全体の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、富良野方面のインバウンドのご利用の増加や観光列車の運転等により、12百万円増加。
- ▶ 営業費用は、[6] 釧網線（東釧路～網走）や[9] 石北線（上川～網走）において新型車両の導入により車両の減価償却費が増加したことや、[3] 根室線（釧路～根室）において線路の修繕費が増加したこと等により、164百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は152百万円拡大。



5

2 その他増減の大きな線区

○ [12] 室蘭線（長万部～東室蘭）の営業損失が縮小

- ▶ 営業収益は、都市間のご利用の増加等により、80百万円増加。
- ▶ 営業費用は、線路の修繕費が増加したこと等により、54百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は26百万円縮小。

○ [17] 根室線（帯広～釧路）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、都市間のご利用の増加等により、9百万円増加。
- ▶ 営業費用は、線路の修繕費が増加したこと等により、123百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は114百万円拡大。

別紙のとおり

2024年度第1四半期 線区別の収支とご利用状況（対2023年度第1四半期）

線 名 ・ 区 間			収 支 (百万円)									輸送密度 (人／日)		
			営業収益 (A)			営業費用 (B)			営業損益 (A)－(B)					
			2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度	増減	2023年度	2024年度	増減
1	留 萌 線	深 川 ～ 石狩沼田	3	4	1	56	56	1	△ 53	△ 53	0	168	210	42
2	宗 谷 線	名 寄 ～ 稚 内	83	88	5	713	692	△ 21	△ 630	△ 604	26	251	254	3
3	根 室 線	釧 路 ～ 根 室	39	38	△ 1	313	365	52	△ 274	△ 327	△ 53	233	206	△ 27
4	根 室 線	滝 川 ～ 富 良 野	24	28	4	280	235	△ 45	△ 256	△ 207	49	323	363	40
5	室 蘭 線	沼 ノ 端 ～ 岩 見 沢	24	24	△ 1	280	262	△ 19	△ 256	△ 238	18	353	327	△ 26
6	釧 網 線	東 釧 路 ～ 網 走	67	65	△ 1	384	454	70	△ 317	△ 388	△ 71	310	298	△ 12
7	日 高 線	苫 小 牧 ～ 鵠 川	9	9	0	93	104	10	△ 85	△ 95	△ 10	400	410	10
8	石 北 線	新 旭 川 ～ 上 川	47	50	2	285	277	△ 8	△ 237	△ 228	10	699	702	3
9	石 北 線	上 川 ～ 網 走	152	153	1	910	1,038	128	△ 758	△ 885	△ 127	524	525	1
10	富良野線	富 良 野 ～ 旭 川	78	81	3	375	370	△ 5	△ 296	△ 289	8	1,147	1,133	△ 14
2 ～ 10 計			523	535	12	3,632	3,796	164	△ 3,109	△ 3,261	△ 152			
11	石勝・根室線	南 千 歳 ～ 帯 広	977	1,000	23	1,989	2,045	56	△ 1,012	△ 1,045	△ 33	2,397	2,485	88
12	室 蘭 線	長 万 部 ～ 東 室 蘭	580	660	80	1,019	1,073	54	△ 439	△ 413	26	3,714	3,909	195
13	室 蘭 線	室 蘭 ～ 苫 小 牧	693	773	81	1,318	1,392	74	△ 626	△ 619	6	5,395	5,548	153
14	函 館 線	岩 見 沢 ～ 旭 川	1,029	1,092	63	1,916	1,966	51	△ 887	△ 875	12	6,116	6,130	14
15	札 沼 線	桑 園 ～ 医療大学	9,931	10,518	586	10,026	10,370	344	△ 95	147	242	16,620	16,533	△ 87
	函 館 線	札 幌 ～ 岩 見 沢										40,286	40,130	△ 156
	千歳・室蘭線	白 石 ～ 苫 小 牧										44,043	44,775	732
	函 館 線	小 樽 ～ 札 幌										40,045	40,207	162
16	宗 谷 線	旭 川 ～ 名 寄	123	129	6	759	789	29	△ 637	△ 659	△ 23	1,075	1,069	△ 6
17	根 室 線	帯 広 ～ 釧 路	297	306	9	1,255	1,378	123	△ 958	△ 1,072	△ 114	1,097	1,136	39
18	新 幹 線	新 青 森 ～ 新函館北斗	2,200	2,412	212	4,622	4,281	△ 342	△ 2,423	△ 1,869	554	4,869	4,728	△ 141
11 ～ 18 計			15,829	16,890	1,061	22,905	23,295	389	△ 7,076	△ 6,405	671			
19	函 館 線	長 万 部 ～ 小 樽	85	89	4	556	565	10	△ 471	△ 476	△ 6	491	482	△ 9
20	函 館 線	函 館 ～ 長 万 部	905	1,034	129	2,446	2,578	132	△ 1,541	△ 1,544	△ 3	2,814	2,981	167
19 ～ 20 計			990	1,124	134	3,002	3,144	142	△ 2,012	△ 2,020	△ 8			
合 計			17,351	18,552	1,200	29,717	30,291	573	△ 12,366	△ 11,739	627	4,579	4,620	41
－	根 室 線	富 良 野 ～ 新 得	6	－	△ 6	122	－	△ 122	△ 116	－	116	57	－	△ 57

（注）1. 単位未満の数値は四捨五入しています。
2. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人÷営業キロ÷日数）。
3. 根室線（富良野～新得）は2024年4月1日に鉄道事業を廃止しています。同線区の実績は2023年度の合計の収支の算出に含めていますが、輸送密度の算出には含めていません。
4. 函館線（札幌～岩見沢）と千歳・室蘭線（白石～苫小牧）はシステムの変更に伴い、2023年度の輸送密度を2023年度公表の際の値から変更しています。

2024年度第1四半期 線区別の収支とご利用状況

線 名 ・ 区 間			営 業 キ 口 (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)						営業係数(円)	
					営 業 収 益 (A)	営業費用			営業損益			
						鉄道計 (B)	管理費 (C)	営 業 費 用 (D) = (B) + (C)	管理費 除 く (A) - (B)	管理費 含 む (A) - (D)	管理費 除 く (B) / (A)	管理費 含 む (D) / (A)
1	留 萌 線	深 川 ～ 石狩沼田	14.4	210	4	48	9	56	△ 44	△ 53	1,318	1,558
2	宗 谷 線	名 寄 ～ 稚 内	183.2	254	88	594	98	692	△ 506	△ 604	677	789
3	根 室 線	釧 路 ～ 根 室	135.4	206	38	310	55	365	△ 272	△ 327	814	958
4	根 室 線	滝 川 ～ 富 良 野	54.6	363	28	199	36	235	△ 171	△ 207	715	845
5	室 蘭 線	沼 ノ 端 ～ 岩 見 沢	67.0	327	24	223	38	262	△ 200	△ 238	942	1,103
6	釧 網 線	東 釧 路 ～ 網 走	166.2	298	65	388	66	454	△ 322	△ 388	593	695
7	日 高 線	苫 小 牧 ～ 鷗 川	30.5	410	9	88	16	104	△ 79	△ 95	984	1,163
8	石 北 線	新 旭 川 ～ 上 川	44.9	702	50	239	39	277	△ 189	△ 228	480	558
9	石 北 線	上 川 ～ 網 走	189.1	525	153	889	149	1,038	△ 736	△ 885	583	681
10	富良野線	富 良 野 ～ 旭 川	54.8	1,133	81	316	54	370	△ 234	△ 289	389	456
2 ～ 10 計			925.7		535	3,244	552	3,796	△ 2,709	△ 3,261	606	710
11	石勝・根室線	南 千 歳 ～ 帯 広	176.2	2,485	1,000	1,772	273	2,045	△ 772	△ 1,045	177	204
12	室 蘭 線	長 万 部 ～ 東 室 蘭	77.2	3,909	660	937	137	1,073	△ 277	△ 413	142	163
13	室 蘭 線	室 蘭 ～ 苫 小 牧	65.0	5,548	773	1,211	182	1,392	△ 438	△ 619	157	180
14	函 館 線	岩 見 沢 ～ 旭 川	96.2	6,130	1,092	1,705	262	1,966	△ 613	△ 875	156	180
15	札 沼 線	桑 園 ～ 医療大学	28.9	16,533	10,518	8,897	1,473	10,370	1,621	147	85	99
	函 館 線	札 幌 ～ 岩 見 沢	40.6	40,130								
	千歳・室蘭線	白 石 ～ 苫 小 牧	68.0	44,775								
	函 館 線	小 樽 ～ 札 幌	33.8	40,207								
16	宗 谷 線	旭 川 ～ 名 寄	76.2	1,069	129	674	114	789	△ 545	△ 659	522	610
17	根 室 線	帯 広 ～ 釧 路	128.3	1,136	306	1,192	186	1,378	△ 886	△ 1,072	389	450
18	新 幹 線	新 青 森 ～ 新函館北斗	148.8	4,728	2,412	3,547	733	4,281	△ 1,135	△ 1,869	147	177
11 ～ 18 計			939.2		16,890	19,935	3,360	23,295	△ 3,045	△ 6,405	118	138
19	函 館 線	長 万 部 ～ 小 樽	140.2	482	89	483	82	565	△ 394	△ 476	541	633
20	函 館 線	函 館 ～ 長 万 部	147.6	2,981	1,034	2,229	349	2,578	△ 1,195	△ 1,544	216	249
19 ～ 20 計			287.8		1,124	2,712	431	3,144	△ 1,589	△ 2,020	241	280
合 計			2,167.1	4,620	18,552	25,939	4,352	30,291	△ 7,387	△ 11,739	140	163

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

鉄 道 事 業 計	2,167.1	—	19,387	—	—	31,345	—	△ 11,958	—	—
-----------	---------	---	--------	---	---	--------	---	----------	---	---

(注)1. 単位未満の数値は四捨五入しています。
2. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従事員に係る、人件費や物件費などのことです。
3. 営業係数とは、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。